

問題1 (6x3=18点)

トキは大きくて美しい鳥である。体の大きさは75センチほどで、羽を広げると140センチにもなる。体の色は白っぽく見えるが、羽を広げると、うすい赤い色をしている。これはトキ色と呼ばれ、人々に好まれた。昔は日本中どこでもトキを見ることができたが、100年ほど前から羽を取るために捕まえられ、少しずつ数を減らしていった。工業化が進むと、トキが暮らす田んぼや森が減ったり、環境が汚染されたりして、その数は非常に少なくなった。そして1981年、ついに日本のトキは絶滅した(注1)。

現在は、中国にいた同じ種類のトキを輸入し、佐渡という島で育てている。そして、数が増えてきたら自然に戻すという計画が立てられている。トキを復活(注2)させるため、多くの金を使い、多くの人々が努力している。

自然は簡単に失われるが、一度失われたら元に戻すのは簡単ではない。

(注1) 絶滅する： ある種類の生物がすっかりいなくなる

(注2) 復活： なくなってしまったものが、また元に戻る

問1 日本のトキの説明について、本文と合っているものはどれか。

1. 昔は日本中にいたが、数を減らし、今は佐渡に数羽いるだけである。
2. 日本各地の田んぼや森にいたが、絶滅し、今は輸入されたトキを育てている。
3. 工業化が進むにしたがって数を減ってしまったが、現在はまた増えている。
4. 絶滅してしまったため、トキに似た中国の鳥を輸入し、育てている。

問2 日本のトキはなぜ、数を減ったのか。

1. トキが田んぼや森の生き物を食べすぎて、捕まえられたから。
2. 捕まえられた上に、トキの住む環境も悪化したから。
3. トキの生きられる場所が減り、中国などの国に行ってしまったから。
4. きれいなトキを飼いたいと思った人が多く、捕まえられたから。

問3 この文章を書いた人が言いたいことは何か。

1. 非常にきれいな日本のトキが絶滅してしまったのは残念なことだ。
2. 美しい生き物は、経済的に大変でも、再び増やして自然に戻したほうがいい。
3. 自然は、復活させるのが非常に難しいので、大切にしなければならない。
4. 自然が失われかけても、さまざまな方法により復活させることができる。